

# 中央区環境行動計画事業等の推進状況

(計画期間 平成20年度から平成29年度までの10年間)

事業総計 74 事業  
うち事業化 71 事業  
(着手率総計95.9%)

環境行動計画事業 40 事業のうち事業化 37 事業 (着手率92.5%)  
計画外事業 34 事業のうち事業化 34 事業 (着手率100%)

資料 1

## 1 地球環境 ー地球温暖化対策が進んでいるまちをつくりましますー

事業	事業概要 (計画期間中の新たな視点等)	重点プロジェクト	10年後の到達目標 (平成19年度(策定時)の状況)	事業化状況	推進状況			掲載頁	基本計画
					平成22年度実績 (3月末)	平成23年度実績 (3月末)	平成24年度当初見込み (平成25年3月末まで)		
1	事業所向け二酸化炭素排出抑制システムの普及 事業所におけるCO2の排出抑制を進めるため、特に中小規模の事業者が取り組みやすいシステムを作成し、運用を支援する。 (平成23年7月愛称名決定「中央エコアクト」) (環境政策課 温暖化対策推進係)	◎	運用開始2009(平成21)年度システムの認証530社 (—)	○	予算額【1,986千円】 ・認証件数 16件 (参加申請件数 21件) 認証件数累計 22件 4.2% (参加申請件数累計 39件)	予算額【3,113千円】 ・認証件数 24件 (参加申請件数 18件) 認証件数累計 46件 8.8% (参加申請件数累計 57件)	予算額【3,174千円】 ・認証件数 20件 (参加申請件数 20件) 認証件数累計 66件 12.5% (参加申請件数累計 77件)	30頁	○
2	家庭向け二酸化炭素排出抑制システムの普及 家庭におけるCO2の排出抑制を進めるため、子どもでも取り組めるシステムを作成し普及を図る。 (平成23年4月から取り組み期間、記録方法を改正し、7月に愛称名決定「中央エコアクト」) (環境政策課 温暖化対策推進係)	◎	運用開始2009(平成21)年度システムへの参加600世帯 (—)	○	予算額【1,125千円】 ・参加世帯数 52件 参加世帯累計 82件 13.6%	予算額【608千円】 ・参加世帯数 136件 参加世帯累計 218件	予算額【227千円】 ・参加世帯数 184件 参加世帯累計 402件 67.0% 実績(平成24年6月29日現在) ・参加世帯数 53件 参加世帯累計 271件	30頁	○
3	新築・改修建物の省エネルギー化の推進 設備、構造自体の省エネルギー化を促進するため、事業者に対し「環境計画書」の提出を義務付けることを検討する。(市街地開発事業指導要綱に基づき100㎡以上の開発を行うものに対して環境計画書の提出の義務を明記して指導している。) (環境政策課 温暖化対策推進係)	◎	推進 (71件)	○	環境計画書提出件数 106件 累計 383件	環境計画書提出件数 108件 累計 491件	実績(平成24年6月29日現在) 環境計画書提出件数 25件 累計 516件	30頁	
4	既存建物の省エネルギー化の促進 床面積1,000㎡以上の建物(約2,700件)に対して、エネルギー使用量等の調査を行い、設備の更新による省エネルギー化の促進を検討する。(関連事業 東京都省エネルギー診断) (環境政策課 温暖化対策推進係)				省エネルギー診断受診事業所数 件数 11件 累計 22件	省エネルギー診断受診事業所数 件数 9件 累計 31件	省エネルギー診断受診事業所数 件数 10件 累計 41件	31頁	
5	区施設の利用に伴うカーボンオフセットの導入 区民・事業者が区の施設を使用する場合に発生する二酸化炭素をオフセットするための仕組みを検討する。 (環境政策課 温暖化対策推進係)				—	みどり東京62市区町村共同事業のカーボンオフセット共同購入事業によるオフセットの実施 【対象事業】 ・総合環境講座 0.6t-CO2 ・エコアクションジョブ 0.2t-CO2	—	31頁	
6	事業活動等におけるカーボンオフセットの導入 日常生活や事業活動で排出するCO2を区民・事業者が自らオフセットする仕組みを検討する。 (環境政策課 温暖化対策推進係)				—	東京都が、実施もしくは検討している仕組みなどを研究する。	東京都が、実施もしくは検討している仕組みなどを研究する。	31頁	
7-1	省エネルギー機器・設備の利用拡大 家庭や事業所において、耐用年数を超えた機器・設備等の更新時に、最新の省エネルギー機器の選択を促進する。 (環境政策課 温暖化対策推進係)		推進 (—)	○	予算額【22,415千円】 (予算額には1-8自然エネルギーの活用を含む) ・新たに高反射率塗料工事に関する助成を行う。 ・助成決定件数 158件 19,329,000円	予算額【29,608千円】 (予算額には1-8自然エネルギーの活用を含む) ・助成決定件数 174件 24,217,000円 ・助成交付件数 194件 29,400,000円 ※平成21年度及び平成22年度の未交付分を含む	予算額【26,317千円】 (予算額には1-8自然エネルギーの活用を含む) ・助成決定件数 82件 20,751,000円 実績(平成24年6月29日現在) ・助成決定件数 85件 11,205,000円	45頁	○
7-2	区施設における自然エネルギー設備の設置 (環境政策課 温暖化対策推進係)		推進 (—)	○	太陽光発電設備 10施設 風力発電設備 2施設	太陽光発電設備 3施設 合計 13施設 風力発電設備 0施設 合計 2施設	太陽光発電設備 4施設 合計 17施設 風力発電設備 0施設 合計 2施設	計 画 外	
8	自然エネルギーの活用 家庭や事業所に太陽光発電などを普及させる仕組みをつくる。 (環境政策課 温暖化対策推進係)		推進 (—)	○	(予算は、1-7省エネルギー機器・設備の利用拡大に合算計上) ・助成決定件数 3件 1,175,000円 累計6件 1,999,000円(H.21~)	(予算は、1-7省エネルギー機器・設備の利用拡大に合算計上) ・助成決定件数 8件 2,602,000円 累計14件 4,601,000円(H.21~)	(予算は、1-7省エネルギー機器・設備の利用拡大に合算計上) ・助成決定件数 10件 5,566,000円 実績(平成24年6月29日現在) ・助成決定件数 2件 770,000円 累計16件 5,371,000円(H21~)	46頁	○
9	省エネルギー行動の推進 節電や節水等、日常生活における省エネルギー行動の普及・啓発に努める。 (水とみどりの課 環境活動係)		推進 (推進)	○	予算額【3,196千円】 ・環境パネル展 ・環境作品コンクール ・環境情報誌発行 ・企業の開催する環境イベント出展(2回)	予算額【3,344千円】 ・環境パネル展 ・環境作品コンクール ・環境情報誌発行 ・企業の開催する環境イベント出展(1回)	予算額【2,867千円】 ・環境パネル展 ・環境作品コンクール ・環境情報誌発行 ・企業の開催する環境イベント出展(1回)	45頁	
10	3Rの普及 省資源の推進に向けて、ごみの発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、資源の再生利用(リサイクル)の3Rの普及を図るとともに、特にごみの発生抑制が重要であることを積極的に周知する。(水とみどりの課 環境活動係)		推進 (推進)	○	予算額【349千円】 ・親子施設見学会(8月3日) 参加者 37人 ・一般向け施設見学会(10月20日) 参加者 35人	予算額【414千円】 ・親子施設見学会 8/4実施 参加者31名 ・一般向け施設見学会 10/26実施 参加者21名	予算額【375千円】 ・親子施設見学会 8/9予定 募集人数40名 ・一般向け施設見学会 10/24予定 募集人数40名	46頁	
11	資源回収品目の拡大 リサイクルを推進するため、容器包装リサイクル法に基づくプラスチックを回収し、あわせてリサイクル品目を拡大する。 (中央清掃事務所 清掃事業係)		14品目 (11品目)	○	予算額【515,969千円】 15品目 スプレー缶・カセットコンロ用ガスボンベを新たに資源回収品目として追加	予算額【541,365千円】 16品目 インクカートリッジを新たに資源回収品目として追加	予算額【522,077千円】 16品目	46頁	

事業	事業概要 (計画期間中の新たな視点等)	重点プロジェクト	10年後の到達目標 平成19年度(策定時)の状況	事業化状況	推進状況			掲載頁	基本計画
					平成22年度実績(3月末)	平成23年度実績(3月末)	平成24年度当初見込み (平成25年3月末まで)		
12	エコスクールの推進 校舎等の改築や改修にあわせ、CO2の排出量が少ない効率的機器・システムの導入や自然エネルギーの活用、緑化を進め、環境への負荷を低減するとともに、児童・生徒の環境教育に活用していく。 (校庭の緑化や風の道、蝶の道プロジェクトなど昆虫や自然も意識した事業) (教育委員会 学校施設係)		推進 (一)	○	予算額【47,889千円】 ・宇佐学園への太陽光発電システムの整備(H22.11施行) ・日本橋小学校等複合施設の壁面緑化(H.23.2施工) ・京橋築地小学校(H22.8)、豊海小学校(H22.10)及び月島幼稚園の校(園)庭改修工事にあわせて、校(園)庭の一部を芝生化(H22.9施工)	予算額【12,060千円】 ・京橋築地小学校屋上「トーフ」(120㎡) ・有馬小学校壁面緑化(100.6㎡) ・有馬小学校緑のカーテン ・佃島小学校芝生設置(102㎡)	予算額【32,529千円】 ・銀座中学校屋上緑化(芝生136㎡、花壇等233㎡) ・久松小学校ビオトープ(29㎡) ・有馬小学校緑のカーテン	47頁	○
13	環境学習の推進 幼児・児童等を対象として、「ごみの発生抑制」「ごみの分別と正しい出し方」など、ごみを通して環境に関する理解を深める。 (事業は、広く環境全般に関する学習の推進について、地域の子ども達を対象として実施) (中央清掃事務所 作業係・清掃事業係)		・幼稚園 16回/年(5回/年) ・小学校 16回/年(3回/年) ・保育園等 8回/年(一)	○	予算額【70千円】 ・幼稚園 6回/年 37.5% ・小学校 8回/年 50.0% ・保育園等 2回/年 25.0%	予算額【70千円】 ・幼稚園 4回/年 25.0% ・小学校 4回/年 25.0% ・保育園等 0回/年 0.0% 予算額【1,619千円】 環境学習に資するため、清掃車をスケルトン構造に改造した。	予算額【70千円】 ・幼稚園 8回/年 50.0% ・小学校 4回/年 25.0% ・保育園等 0回/年 0.0% スケルトンに改造した清掃車を環境学習等で活用していく。	47頁	
14	家庭の省エネ「見える化」の推進 中央区二酸化炭素排出抑制システムの参加家庭を対象に省エネナビの貸し出しを行う。 ※省エネナビ 電力使用量、二酸化炭素や熱量、電気料金をリアルタイムに表示し、設定した目標数値をオーバーするとランプの色で警告する機器。 (環境政策課 温暖化対策係)			○	—	予算額【2,199千円】 貸与制度運用開始 ・貸与申込件数 29件	予算額【1,125千円】 ・貸与申込件数 50件 (平成24年6月29日現在) ・貸与申込件数 27件	計 画 外	
15	未利用エネルギーに関する調査 地域がもっている潜在的な資源などを活用し、より優れたエネルギーシステム構築に向けた採算可能性やその実現のための課題解決の方策等について調査を実施する。 (環境政策課 計画調整係)			○	—	予算額【5,000千円】 ・コンサルタント業者の決定 ・庁内ワーキングの開催 第1回 平成23年10月開催 第2回 平成23年12月開催 第3回 平成24年3月開催 ・庁内ワーキングを経て、未利用エネルギー活用の具体的方策を提案した。	予算額【5,000千円】 ・コンサルタント業者の決定 ・庁内ワーキングの開催 3回以上実施予定。 ・昨年度調査結果を踏まえ、未利用エネルギーの地域利用システム(需要先、エネルギー創出方法、行政関与)を検討し、経済性、事業推進課題等を整理する。	計 画 外	
16	中央区子ども環境サミットの開催 区立小学校16校の代表児童による環境をテーマとした発表会やミニ講演会、環境学習への取組優秀校の表彰などを行う。 (教育委員会 庶務係)			○	—	予算額【2,278千円】 開催日 平成23年度7月9日(土) 会場 銀座プロッサム 参加 区立小学校16校 内容 第1部 各校児童代表による「環境」をテーマとした研究成果の発表 第2部 ショートステージ 第3部 表彰・小学生環境宣言 来場者 671名	予算額【1,859千円】 開催日 平成24年度7月14日(土) 会場 銀座プロッサム 参加 区立中学校4校、私立中学校1校 内容 第1部 講師による「環境」をテーマとした特別授業 第2部 各校児童代表による「環境」をテーマとしたプレゼンテーション 第3部 全体講評・感謝状贈呈	計 画 外	
17	協働提案事業 社会貢献活動団体と区が公共的な課題解決に取り組むため、協働提案事業として採択された事業を実施する。 ・区立幼稚園、小・中学校のカリキュラムにおいて、日頃、自然と親しむ機会が少ない都心の子どもたちに、ミツバチなどを活用した環境教育や食育教室などの出前授業を行う。 (教育委員会 庶務係) ・区民に「中央区の森」をより身近に感じてもらうため、森林保全活動の大切さを学ぶとともに、檜原村民との交流を通して村の自然環境・文化・伝統等に触れることにより、あらためて環境について考える機会を提供する体験ツアーを実施する。 (水とみどりの課 環境活動係)			○	—	予算額【436千円】 銀座ミツバチプロジェクト出前授業 実施校 小学校4校 幼稚園7園 (各校園とも1回) 実施日 5月16日～11月30日 参加者 700名	予算額【436千円】 銀座ミツバチプロジェクト出前授業 実施校 小学校4校 幼稚園7園 (各校園とも1回) 実施日 9月～11月 参加者 630名(予定) 予算額【493千円】 檜原村で中央区のふるさと大発見 対象 区内在住の小学生とその保護者 実施日 7月26日 参加者 33名	計 画 外	
18	公園灯のLED化 区立公園内照明の消費電力削減による環境負荷の低減および照明器具の長寿命化による維持管理経費の削減を図るため、照明器具のLED化を試験的に導入する。 (水とみどりの課 公園河川係)			○	—	予算額【7,877千円】 ・築地川亀井橋公園 (ポール2灯、フットライト6灯) ・築地川祝橋公園 (ポール4灯、フットライト5灯) ・楓川宝橋公園(ポール4灯) ・楓川新場橋公園(ポール4灯)	予算額【19,509千円】 ・石川島公園 (ポール25灯)	計 画 外	
19	清掃事業の普及・啓発 『「資源」と「ごみ」の正しい分け方・出し方』の内容を見直し、写真やイラストを増やすとともに、ごみや資源の処理の流れ等について掲載するわかりやすい冊子を作成する。 (中央清掃事務所 清掃事業係)			○	予算額【11,222千円】 各区で発行されている冊子を収集、比較検討し、わかりやすい分別方法について掲載内容の充実を図る。 予算額【461千円】 清掃・リサイクル事業の普及・啓発を図るため、環境ポスターを区直営車に貼付する。	予算額【5,509千円】 わかりやすい分別方法など掲載内容の見直しを進め、冊子の充実を図る。 予算額【566千円】 清掃・リサイクル事業の普及・啓発を図るため、環境ポスターを区直営車に貼付する。	予算額【8,650千円】 今後も、わかりやすい分別方法など掲載内容の見直しを進め、冊子の充実を図る。 予算額【1,070千円】 清掃・リサイクル事業の更なる普及・啓発を図るため、環境ポスター貼付を区直営車に加え委託車等に拡大する。	計 画 外	
20	リサイクル事業の普及啓発 ・エコまつりの開催 フリーマーケットと同時開催するとともに、区内の小・中学校、保育園等から排出された生ごみの堆肥化により栽培する野菜等の販売ブースを新たに設置する。 (水とみどりの課 環境活動係)			○	予算額【2,187千円】 ・エコまつり・フリーマーケット同時開催 【会場】中央区保健所、あかつき公園 ・小学校等から排出された生ごみの堆肥化により栽培された野菜を販売 参加者数 2,100人	予算額【3,102千円】 ・エコまつり・フリーマーケット同時開催 【会場】中央区保健所、あかつき公園 ・小学校等から排出された生ごみの堆肥化により栽培された野菜を販売 参加者数 2,200人	予算額【2,963千円】 ・エコまつり・フリーマーケット同時開催 【会場】中央区保健所、あかつき公園 ・小学校等から排出された生ごみの堆肥化により栽培された野菜を販売 参加者数 2,200人	計 画 外	

No.	事業	事業概要 (計画期間中の新たな視点等)	重点 プロ ジェクト	10年後の到達目標 平成19年度(策定時)の状況	推進状況			掲載 頁	基本 計画	
					平成22年度実績(3月末)	平成23年度実績(3月末)	平成24年度当初見込み (平成25年3月末まで)			
21	ほっとプラザはるみの屋上庭園を利用したリサイクル教室の実施	ほっとプラザはるみの屋上庭園や施設を利用してもらうことを目的として、庭園で栽培しているハーブなどを活用してリサイクル教室を実施する。 (水とみどりの課 環境活動係)			○	ハーブリサイクル教室 ・ラベンダーステックづくり 参加者数 18人 ・クリスマスリースづくり 参加者数 30人	予算額【 293千円】 ハーブリサイクル教室 ・ラベンダーステックづくり 参加者数 26人 ・クリスマスリースづくり 参加者数 34人	予算額【 293千円】 ハーブリサイクル教室 ・ラベンダーステックづくり 募集人数 30人 ・クリスマスリースづくり(予定) 募集人数 30人	計画外	
22	中央区の森	東京都西多摩郡檜原村で森林保全活動を支援し、CO2の吸収源として重要な役割を担っている森林を守り・育てる。また、「中央区の森」を活用して区民・事業者の環境意識の普及・啓発を図る。 (水とみどりの課 環境活動係)	◎	33.5ha (事業面積 3.5ha)  (・新規作業面積 2.5ha 計3.5ha)	○	対象面積 37.4ha ・新規作業面積 約3.5ha(計14ha) ・体験ツアー1回 28人参加	予算額【 7,778千円】 対象面積 37.4ha ・新規作業面積 約4ha(計約18ha) ・体験ツアー1回実施 31人参加	予算額【 18,622千円】 [数馬地区] ・対象面積 37.4ha ・新規作業面積(予定) 約2.3ha(計約20ha) ・体験ツアー2回実施 募集人数70人 [南郷地区] ・対象面積 4.9ha ・新規作業面積(予定)1ha	30頁	○
23	「中央区の森」の環境ふれあい村構想の推進 (旧 中央区の森活性化構想の策定)	森林保全活動を基軸として、本区と檜原村との交流を深めつつ、区民等が豊かな自然に触れる機会の拡大を図るため、中長期的視点に立つ「中央区の森環境ふれあい村構想(仮称)」を策定する。 (水とみどりの課 環境活動係)			○	運用開始 ・コンサルタント業者の決定 檜原村・NPOとのヒヤリングを行う ・平成23年3月に「中央区の森環境ふれあい村構想」を策定	予算額【 9,106千円】 中央区の森環境ふれあい村推進協議会 (全5回)の開催 ・中央区開催 3回 ・檜原村開催 2回	予算額【 4,558千円】 中央区の森環境ふれあい村推進協議会の開催 ・協議会開催 2回(檜原村・中央区各1回) ・部会開催 2回	計画外	
24	「中央区の森」の間伐材を活用したベンチ整備	公園・児童遊園の老朽化したベンチの更新にあたり、中央区の森の保全活動で発生した間伐材を用いたベンチを設置する。また、江戸バス停留所においても間伐材の待合ベンチを設置する。(水とみどりの課公園河川係)			○	—	予算額【 5,333千円】 ・公園 ベンチ 12基 (内かまどベンチ2基) ・江戸バス停留所 ベンチ5基	予算額【 2,274千円】 公園 ベンチ 10基(予定)	計画外	
25	中央区エコタウン構想の策定	地域特性や地域課題を踏まえた地域の環境のあるべき姿を描き、具体的に環境行動を実践していくため、地域と区が協働し、区民が快適に楽しむことのできる「中央区エコタウン構想」を策定する。 (環境政策課 計画調整係)			○	・事業開始 ・モデル地区を2箇所決定 東京駅前地区(業務系のモデル地区) 晴海地区(住宅系のモデル地区) ・コンサルタント業者の決定 ・ワークショップメンバーの決定 (7月から地域の現状・課題・方向性の整理、取り組み概要協議を行う。) ・ワークショップの開催 第1回 平成22年 8月 第2回 平成22年 9月 第3回 平成22年10月 第4回 平成22年12月 ・先進事例の視察 平成23年2月 ・「中央区エコタウン構想 平成22年度ワークショップの中間まとめ」作成	予算額【 15,173千円】 ・コンサルタント業者の決定 ・ワークショップの開催 第1回 平成23年5月 第2回 平成23年7月 第3回 平成23年8月 ・子ども環境サミットの開催 7月9日開催  平成24年2月(予定) ・中央区 エコタウン構想案の策定  平成24年3月(予定) ・パブリックコメントの実施 ・中央区 エコタウン構想の策定 ・キックオフイベントの開催	予算額【 10,670千円】 ・地区のエネルギー利用実態の把握に関する調査 ・コミュニティサイクル導入検討調査	計画外	
26	事業所向け二酸化炭素排出抑制システム認証取得者への商工業融資優遇利率適用	中央区版二酸化炭素排出抑制システム認証取得事業所に対して、商工業融資における優遇利率を適用する。 (商工観光課 相談融資係)		優遇利率適用 (—)	○	0件 (認証取得事業者による融資の申請はあったが、優遇利率適用となる融資種別の申請ではなかった。)	0件	制度の周知	計画外	
27	環境マネジメントシステムの推進 (旧 ISO14001の推進)	ISO14001に基づく中央区環境マネジメントシステムを運用し、区の事務事業に伴う環境負荷の低減を図るとともに、ISOの普及及び支援活動を進める。平成14年認証取得(H23年10月区独自の環境マネジメントシステムの運用開始)普及については、環境経営認証取得費助成制度を導入し、事業者等の取組みの支援を図る。 (環境政策課 温暖化対策係)		推進 (推進)	○	認証継続	予算額【 2,279千円】 各施設・職場における省エネルギー活動およびエネルギー管理に重点をおいた区独自の環境マネジメントシステムを構築し、適用範囲を全組織・施設に拡大して運用している。 ISO14001は平成22年度終了	予算額【 1,152千円】 事業推進 実施・運用・点検・報告・見直し	計画外	
28	中央区役所温室効果ガス排出抑制実行計画	区の事務及び事業を対象として、温室効果ガス排出量を削減する。 (平成22年度改正) (環境政策課 温暖化対策係)		平成21年度比で3%の削減	○	予算額【 6,000千円】 (予算額には、ISO→EMSの改定分含む) 4.0%増加 H23~H27計画に向けて平成22年度末に改定した。	予算額【 0千円】 目標3%削減 実績3%削減	予算額【 0千円】 目標3%削減	計画外	
29	区施設の省エネルギー診断	区が率先して地球温暖化防止に資するため、区施設を対象とした専門家による省エネルギー診断を実施する。診断結果を建物及び設備の運用改善や回収に活用することにより、即効性のある省エネルギー化の推進を図る。 (環境政策課 温暖化対策係)			○	・事業実施 対象施設10施設 対象施設10施設について、事前調査及び現地調査を行い、報告書を作成。報告会を開催、省エネルギーに向けた改善方法を提案した。	—	—	計画外	
30	公衆浴場のクリーンエネルギー化	区内公衆浴場使用燃料の都市ガス等への切替え促進のため、対象経費を9割補助することにより、環境負荷を軽減するとともに、災害時の安全性確保と浴場経営の安定化を図る。 (区民部地域振興課 区民施設係)		推進 (—)	○	対象 3浴場 実績 2浴場(湊湯、日の出湯) 66%	予算額【 1,600千円】 実績 1浴場(世界湯) 34% 23年度で事業終了	—	計画外	
31	街路灯等の省エネ化(メタルハライド、LED)	消費電力の少ない道路照明器具(メタルハライドランプ、LED)を採用することにより、省エネルギー化を推進する。 (水とみどりの課 道路緑化施設係)		推進 (推進)	○	・メタルハライド 整備 171基、計 1,727基 ・LED 整備 20基、計 64基	・メタルハライド 整備 212基、計 1,939基 ・LED 整備 12基、計 76基	・メタルハライド 今年度整備予定 99基 整備予定累計 2,038基 ・LED 今年度整備予定 40基 整備予定累計 116基	計画外	

事業	事業概要 (計画期間中の新たな視点等)	重点プロジェクト	10年後の到達目標 平成19年度(策定時)の状況	事業化状況	推進状況			掲載頁	基本計画
					平成22年度実績(3月末)	平成23年度実績(3月末)	平成24年度当初見込み (平成25年3月末まで)		
32	区内駐車場照明のLED化	区営駐車場内照明の消費電力削減による環境負荷の低減および照明器具の長寿命化による維持管理経費の削減を図るため、照明器具のLED化を試験的に導入する。 (道路課 交通対策係)	推進 (推進)	○	予算額【1,240千円】 ・LED照明の整備 晴海一丁目駐車場 55基	予算額【0千円】 整備なし 対象駐車場及び導入器具を検討	予算額【0千円】 整備なし 対象駐車場及び導入器具を検討	計画外	
33	資源持ち去り防止対策	区民が安心して資源物を排出できる環境の確保およびリサイクル意識の高揚を図るため、資源物の持ち去り禁止を明確化するとともに、パトロール等の防止対策を実施する。 (中央清掃事務所 作業係)	推進 (一)	○	予算額【11,360千円】 ・警備会社によるパトロールの実施 1台/日 ・集積所に持ち去り禁止看板の設置 ・新聞回収袋の配布	予算額【10,287千円】 ・警備会社によるパトロールの実施 1台/日 ・職員によるパトロールの実施 ・集積所に持ち去り禁止看板の設置 ・新聞回収袋の配布	予算額【7,547千円】 ・警備会社によるパトロールの実施 1台/日 ・職員によるパトロールの実施 ・集積所に持ち去り禁止看板の設置 ・新聞回収袋の配布	計画外	
34	集団回収の支援	地域のリサイクル活動を推進するため、リサイクル活動団体に対する支援を行う。 (中央清掃事務所 清掃事業係)	推進 (登録団体数:180団体)	○	予算額【38,920千円】 登録団体数:194団体	予算額【38,427千円】 登録団体数:194団体	予算額【39,180千円】 登録団体数:208団体	計画外	
35	拠点回収	一人でも多くの区民がリサイクルに参加できるように、公共施設、小学校、回収協力店で資源物を回収する。 ・公共施設 牛乳パック、食品用発泡スチロールトレイ、乾電池、布類 ・小学校 廃食用油、布類、牛乳パック、食品用発泡スチロールトレイ、乾電池、ペットボトル ・回収協力店 ペットボトル (中央清掃事務所 清掃事業係)	推進	○	7品目 予算額【43,409千円】	8品目 ・公共施設 インクカートリッジの追加 予算額【44,054千円】	8品目 予算額【19,961千円】	計画外	
36	集積所回収	資源物を集積所で回収し資源化することにより、ごみの減量およびリサイクルを進め、最終処分場の延命と資源の有効活用を図る。 (中央清掃事務所 清掃事業係)	推進 (6品目) びん、缶、新聞、雑誌・雑紙、段ボール、ペットボトル	○	9品目 スプレー缶・カセットコンロ用ガスボンベの追加 予算額【433,640千円】	9品目で実施 予算額【458,884千円】	9品目で実施 ペットボトルのさらなるリサイクルを推進するため、ペットボトルの圧縮、梱包など中間処理を行う。 予定処理量 800,000kg 予算額【462,936千円】	計画外	
37	土のリサイクル	廃棄物として取り扱えない「園芸用の土」のリサイクルを、リサイクルハウスかざぐるま箱崎町においてモデル実施する。(モデル実施から本格実施に移行) (水とみどりの課 環境活動係)		○	モデル実施 回収量 2,334kg 予算額【0千円】	本格実施 回収量 12,000kg 再生量 8,570kg 予算額【3,687千円】	回収予定量 12,000kg 再生予定量 10,000kg 予算額【3,757千円】	計画外	
38	総合環境講座の開催	環境問題に対する理解を深めるとともに、地域において環境活動に取り組む人材を育成するため、環境学習講座の充実を図る。 (水とみどりの課 環境活動係)	推進 (推進)	○	開催 2回 56人参加 内容 省エネ講座 (家庭向け(春)、事業所向け(秋)) 各8回 予算額【4,786千円】	開催 2回 56人参加 内容 省エネ講座 (家庭向け(春)、事業所向け(秋)) 各8回 予算額【4,993千円】	開催 2回 募集人数60人 内容 省エネ講座 (家庭向け(春)、事業所向け(秋)) 各8回 予算額【4,993千円】	計画外	
39	コミュニティバス等の運行	地域内・地域間を結ぶ公共交通を補完し、区内交通不便エリアの解消と公共施設の利便性向上を図るため、コミュニティバスを運行する。(環境政策課 庶務係)		○	運行 平成22年度 乗車人数:422,294人 1日平均:1,170人 予算額【103,740千円】	運行 平成23年度 乗車人数:470,265人 1日平均:1,288人 予算額【101,438千円】	運行(平成24年7月14日ルート変更及びダイヤ改正) 平成24年度(推計) 乗車人数:464,280人 1日平均:1,272人 予算額【97,776千円】	計画外	
小計	39事業				36事業				

## 2 都市環境 ー環境負荷の少ないまちをつくりますー

事業	事業概要 (計画期間中の新たな視点等)	重点プロジェクト	10年後の到達目標 平成19年度(策定時)の状況	事業化状況	推進状況			掲載頁	基本計画
					平成22年度実績(3月末)	平成23年度実績(3月末)	平成24年度当初見込み (平成25年3月末まで)		
1	空地および区の施設の緑化推進	区内の空地、公共施設の屋上や壁面の緑化、芝生化などを積極的に進める。 (水とみどりの課 緑化推進係)	・屋上緑化 31施設 (20施設) 内訳) 屋上 19施設 壁面 1施設	○	屋上 0施設 屋上計 23施設 壁面 0施設 壁面計 7施設 計 30施設 96.8%	屋上 0施設 屋上計 23施設 壁面 4施設 壁面計 11施設 計 34施設 110.0%	屋上 2施設 屋上計 25施設 壁面 0施設 壁面計 11施設 計 36施設 116.1%	32頁	
2	緑化助成制度	区民・事業者の、屋上緑化・壁面緑化等に対する助成を推進する。(水とみどりの課 緑化推進係)	推進 (推進)	○	予算額【27,000千円】 ・緑化助成 9件 93㎡ ・屋上 2件 67㎡ ・保護育成費助成 7件	予算額【23,000千円】 ・地上部等緑化 7件 171㎡ ・屋上等緑化 8件 286㎡ ・保護育成費助成 18件	予算額【16,000千円】 ・地上部等緑化 1件 91㎡ ・屋上等緑化 2件 26㎡ ・保護育成費助成 1件 (平成24年7月10日現在)	32頁	
3	苗木即売会	緑化意識の高揚を図るために苗木即売会を開催し、緑の相談コーナーを設置するとともに、ベランダ緑化のモデルケース展示を行う。(水とみどりの課 緑化推進係)	推進 (推進)	○	春2回、秋2回 計4回 予算額【494千円】	春2回、秋2回 計4回 予算額【529千円】	春2回、秋2回 計4回 予算額【156千円】	計画外	
4	遮熱性舗装道路の整備	舗装路面の温度の上昇を抑制し、蓄熱量を低減するために遮熱性舗装を推進する。 対象:総幅員22m以上で低騒音舗装になっている道路 (道路課 まちなみ整備係)	127,390㎡ (7,590㎡)	○	整備面積 4,581㎡ 整備面積計 33,169㎡ 26.0%	整備費【32,550千円】 整備面積 4,267㎡ 整備面積計 37,436㎡ 29.4%	整備面積 5,590㎡ 整備面積計 43,026㎡ 33.8%	33頁	○
5	路面温度表示板設置	遮熱性舗装の効果を区民や来街者に知ってもらうため、太陽光パネルを用いた路面温度表示板を設置する。 (道路課 まちなみ整備係)		○	・開始 整備基数 1基 整備基数計 1基 予算額【2,500千円】	整備なし 予算額【0千円】	整備なし 予算額【0千円】	計画外	

事業	事業概要 (計画期間中の新たな視点等)	重点プロジェクト	10年後の到達目標 平成19年度(策定時)の状況	事業化状況	推進状況			掲載頁	基本計画
					平成22年度実績(3月末)	平成23年度実績(3月末)	平成24年度当初見込み (平成25年3月末まで)		
6	建物の排熱抑制、断熱処理等の促進	建物の新築時に環境計画書の提出を求め、排熱の少ない構造や機器の導入、屋上や壁面の断熱処理等を促進する。 (環境政策課 温暖化対策係)	◎ (推進)	○	市街地開発事業指導要綱に基づき100㎡以上の開発を行うものに対して環境計画書の提出の義務を明記して指導している。	市街地開発事業指導要綱に基づき100㎡以上の開発を行うものに対して環境計画書の提出の義務を明記して指導している。	市街地開発事業指導要綱に基づき100㎡以上の開発を行うものに対して環境計画書の提出の義務を明記して指導している。	33頁	
7-1	風の道づくり (八重洲通り・晴海通り・日本橋川)	道路の緑化 街路樹の充実や中央分離帯の緑化を東京都と連携して推進する。 (水とみどりの課 道路緑化施設係)	◎ (推進)	○	八重洲通り 整備 中木 60本 合計 中木 60本 予算額【1,738千円】	整備なし 合計 中木 60本 予算額【0千円】	整備なし 合計 中木 60本 予算額【0千円】	32頁	
7-2	護岸の緑化 日本橋川の護岸の緑化を進める。 (水とみどりの課 道路緑化施設係)	◎ (推進)	○	日本橋川 整備 整備延長計 100m 524m 予算額【11,600千円】	整備なし 整備延長計 524m 予算額【0千円】	整備なし 整備延長計 524m 予算額【0千円】			
7-3	建築物の配置等の配慮 再開発等において、風の流れを遮断することのないように配慮する。(都市整備部地域整備課まちづくり推進主査)	◎ (推進)	○	各地区に定めた地区計画により、建物の壁面後退を義務付け、空間を確保している。	開発が活発化するなかで隣接エリアにおける開発間の調整を図りながら、地区計画で建物の壁面後退を義務付け、空間を確保している。	再開発事業及びその他の開発を含めた開発間での調整を行うとともに、各地区に定められている地区計画により、建物の壁面を後退させ、空間確保を図っていく。			
7-4	高速道路の撤去 日本橋川上空に架かっている高速道路の撤去の可能性を検討する。(都市整備部地域整備課まちづくり推進主査)	◎ (推進)	○	日本橋再生推進協議会を開催し、日本橋川の再生に向けたまちづくりを推進するための手法などの検討を行った。	日本橋再生推進協議会を開催し、日本橋川河岸街区のオープンスペース化等、シュミレーションに基づく課題検討や都市計画の考え方の整理を行い、国等への働きかけた。	日本橋再生推進協議会を通じ地元と一体となった取組を継続し、日本橋川河岸街区のオープンスペース化等、シュミレーション課題検討や都市計画の考え方の整理を行い、国等への働きかけていく。			
8	車道透水性舗装の導入	区道等の整備、補修にあわせて車道透水性舗装を導入する。 対象：京橋・日本橋地区の幅員5.45m未満の道路 総面積 約51,700㎡ (道路課 まちなみ整備係)	11,630㎡ (1,630㎡)	○	整備面積 整備面積計 367㎡ 3,378㎡ 29.0% 予算額【10,295千円】	整備面積 整備面積計 393㎡ 3,771㎡ 32.4% 整備費【8,000千円】	整備面積 整備面積計 490㎡ 4,261㎡ 36.6% 予算額【15,968千円】	22頁	○
9	街角広場の整備	地域のランドマークとして、明るさや美しさに配慮した街角広場を増やす。(水とみどりの課 道路緑化施設係)	27カ所 (7カ所)	○	整備 1箇所 (新川2丁目緑地帯) 整備箇所計 12箇所 44.4% 予算額【4,479千円】	整備 1箇所 (小伝馬町17番) 整備箇所計 13箇所 48.1% 予算額【2,609千円】	今年度整備予定 1箇所 (中洲橋北西) 今年度末整備予定計 14箇所 51.8% 予算額【2,440千円】	23頁	
10	緑道の整備	区民が散策路として楽しめるよう、河川や運河沿いの通路等を快適でうるおいのある緑道にする。 (水とみどりの課 道路緑化施設係)	整備延長 1,650m	○	整備延長 110m 計 560m 整備面積 1,077㎡ 計 4,795㎡ 33.9% 予算額【39,150千円】	整備延長 275m 計 835m 整備面積 1,794㎡ 計 6,589㎡ 50.6% 予算額【94,563千円】	整備なし 計 6,589㎡ 50.6% 予算額【0千円】	23頁	
11	古木を生かした景観の整備	区内の古木や由緒ある木を中心に「花と緑の名所づくり」を進め、文化・歴史と調和した景観を整備する。 (水とみどりの課 緑化推進係)	(推進)	○	推進	公園改修などにおいて、既存の大径木を残した改修をしている。 ・月島第二児童公園	推進	23頁	
12	ヒートアイランド調査	都心部で顕著なヒートアイランド現象の実態を把握する。 (都市整備部 地域整備課 まちづくり推進主査)	推進 (一)	○	(地域の森づくりに向けた環境調査(4自然環境の8項目に記載)事業で代替実施)	(事業統合)	—	計画外	
小計	12事業			12事業					

### 3 生活環境 —健康で快適に暮らせるまちをつくります—

事業	事業概要 (計画期間中の新たな視点等)	重点プロジェクト	10年後の到達目標 平成19年度(策定時)の状況	事業化状況	推進状況			掲載頁	基本計画
					平成22年度実績(3月末)	平成23年度実績(3月末)	平成24年度当初見込み (平成25年3月末まで)		
1	駐輪場の整備	環境負荷の少ない自転車利用を促進するために、駅周辺の整備時や百貨店等の大型集客施設の建て替え等において、駐輪場を設置する。(道路課 交通対策係)	23カ所 (15カ所)	○	整備 2カ所 整備箇所計 19カ所 82.6% 予算額【4,000千円】	整備なし 整備箇所計 19カ所 (整備可能な候補地を調査) 82.6% 予算額【13,439千円】	整備なし 整備箇所計 19カ所 (整備可能な候補地を調査) 82.6% 予算額【14,948千円】	24頁	
2	低騒音舗装道路の整備	自動車交通の騒音を抑制するため、道路の低騒音舗装を進める。 対象：幅員15m以上の道路 (道路課 まちなみ整備係)	117,640㎡ (11,140㎡)	○	整備面積 整備面積計 7,826㎡ 36,134㎡ 30.7% 予算額【79,152千円】	整備面積 整備面積計 6,516㎡ 42,650㎡ 36.3% 整備費【62,566千円】	整備面積 整備面積計 7,410㎡ 50,060㎡ 42.6% 整備費【92,608千円】	24頁	○
3	大気汚染・有害物質対策の推進	区民の健康を守るために、大気や土壌等の有害物質に対する調査・対策を強化していく。 (環境政策課 環境調査係)	推進 (推進)	○	大気中アスベスト調査 3カ所 大気中ダイオキシン調査 1カ所 土壌中ダイオキシン調査 5カ所 大気中揮発性有機化合物調査 1カ所 予算額【3,260千円】	大気中アスベスト調査 3カ所 大気中ダイオキシン調査 1カ所 土壌中ダイオキシン調査 5カ所 予算額【2,225千円】	大気中アスベスト調査 3カ所 大気中ダイオキシン調査 1カ所 土壌中ダイオキシン調査 5カ所 大気中揮発性有機化合物調査 1カ所 予算額【2,872千円】	24頁	

事業	事業概要 (計画期間中の新たな視点等)	重点 プロ ジェクト	10年後の到達目標 平成19年度(策定時)の状況	事業化 状況	推進状況			掲載 頁	基本 計画
					平成22年度実績(3月末)	平成23年度実績(3月末)	平成24年度当初見込み (平成25年3月末まで)		
4	新交通システム導入	C02の排出が少ない公共交通機関導入について、東京都と連携して検討を進める。 (環境政策課 計画調整係)	検討	○	検討	予算額【15,000千円】 ・「中央区地域公共交通会議」の中に「交通戦略部会」を設置し検討した 第1回 平成23年11月開催 第2回 平成23年12月開催 第3回 平成24年2月開催 ・「中央区総合交通計画(案)」を策定	予算額【15,000千円】 ・「中央区総合交通計画(案)」に対するパブリックコメントを実施し、「中央区総合交通計画」を策定 ・「基幹的交通システム導入基本計画」を策定予定	25頁	
5	自転車利用の促進	快適な自転車の利用に向けて、専用レーンの整備などを検討する。 (環境政策課 計画調整係)		○	自転車レーンや駐輪場の整備、共同利用や安全利用の促進について、「自転車利用のあり方検討会(区・警察・国道・都道管理者)」で検討(2回) 自転車通行帯(清杉通り)	「自転車利用のあり方検討 中間のまとめ」を行い、パブリックコメントを実施。	・中央区自転車利用のあり方を策定 ・区内の駐輪場整備候補地を調査 ・コミュニティサイクル導入検討調査(「1-25中央区エコタウン構想の策定」で実施)	25頁	
6	エコドライブの促進	アイドリング・ストップや急発進・急加速の防止等、省エネルギーでCO2の排出の少ない運転を促進する。 (環境政策課 環境調査係)	推進 (推進)	○	予算額【174千円】 ・区内事業者に周知用パンフレット送付(989件) ・懸垂幕の掲出(11月~2月)3カ所	予算額【143千円】 ・区内事業者に周知用パンフレット送付 913件 ・懸垂幕の掲出(11月~2月)3カ所	予算額【116千円】 ・区内事業者に周知用パンフレット送付 913件 ・懸垂幕の掲出(11月~2月)3カ所	24頁	
7	低公害車の普及促進	天然ガス自動車(CNG車等)、ハイブリッド車、電気自動車等の低公害車購入時に融資をあっ旋する。また、低公害車利用者の区営駐車場使用料を優遇する。 (区において電気自動車を導入するとともに急速充電器の整備を進め、低公害車の普及を促進する。) (環境政策課 環境調査係)	継続 (継続)	○	予算額【4,966千円】 ・電気自動車 *購入費助成 (50万円:システム認証60万円) 2件 *購入者に対する軽自動車税の免除 12件 *区営駐車場割引 1万円 1件 ・低公害車(電気自動車を除く) 区営駐車場割引 6千円 1,658件 *電気自動車の導入 1台	予算額【5,459千円】 ・電気自動車 *購入費助成 (50万円:システム認証60万円) 6件 *購入者に対する軽自動車税の免除 24件 *区営駐車場割引 1万円 12件 ・低公害車(電気自動車を除く) 区営駐車場割引 6千円 1,648件	予算額【5,432千円】 ・電気自動車 *購入費助成 (50万円:システム認証60万円) 6件 *購入者に対する軽自動車税の免除 22件 *区営駐車場割引 1万円 12件 ・低公害車(電気自動車を除く) 区営駐車場割引 6千円 1,648件 *電気自動車の導入 1台 *清掃事務所に業務用充電設備を整備	24頁	○
8	地域美化活動への区民・事業者の参加促進	クリーンデーやまちかどクリーンデーなどの地域美化活動への区民・事業者の参加を促進する。 (道路課 工務係)	・クリーンデー 参加団体数 309団体(259団体) ・まちかどクリーンデー 参加登録数 220件(120件) ・地域クリーン推進実践 団体登録数 51団体(41団体)	○	予算額【6,911千円】 ・クリーンデー 参加団体数 280団体 90.6% ・まちかどクリーンデー 参加登録数 189件 85.9% ・地域クリーン推進実践 団体登録数 39団体 76.5%	予算額【6,934千円】 ・クリーンデー(雨天中止) 参加団体数 116団体 37.5% ・まちかどクリーンデー 参加登録数 184件 83.6% ・地域クリーン推進実践 団体登録数 38団体 74.5%	予算額【7,251千円】 ・クリーンデー 参加団体数 281団体 90.9% ・まちかどクリーンデー 参加登録数 188件 85.5% ・地域クリーン推進実践 団体登録数 38団体 74.5%	25頁	○
9	街頭パトロール・街頭キャンペーンの実施	歩きたばこ・ポイ捨て・アイドリングや資源持ち去りなどの迷惑行為を防止するため、街頭パトロール等を実施する。 (道路課 工務係)	パトロール等 歩きたばこ・ポイ捨て防止	○	予算額【38,851千円】 パトロール 14人 延べ日数 1,410日	予算額【37,605千円】 パトロール 14人 延べ日数 1,696日	予算額【40,903千円】 パトロール 14人 今年度延べ日数 1,943日	25頁	○
小計	9事業			9事業					

#### 4 自然環境 ー水辺や緑に囲まれたまちをつくりまー

事業	事業概要 (計画期間中の新たな視点等)	重点 プロ ジェクト	10年後の到達目標 平成19年度(策定時)の状況	事業化 状況	推進状況			掲載 頁	基本 計画
					平成22年度実績(3月末)	平成23年度実績(3月末)	平成24年度当初見込み (平成25年3月末まで)		
1	公園・児童遊園の整備	再開発や公共施設の再編により、自然環境に配慮した、公園・児童遊園を整備する。 (水とみどりの課 公園河川係)	公園 53園(51園) 児童公園 38園(37園)	○	公園 53園 100.0% 児童公園 36園 94.7%	公園 53園 100.0% 児童遊園 36園 94.7%	公園 54園 101.9% (晴海臨海公園新設) 児童遊園 33園 86.8% (新島橋北西・新島橋南西、勝どき五丁目児童遊園廃止)	26頁	○
2	街路樹の整備	花や紅葉が美しい木、実がなる木など区民に親しまれる街路樹を増やす。 歩道の新設や拡幅の際には、街路樹間に中木・低木を植栽するなど積極的に植樹し、街路樹の多層化・連続化等により緑豊かな歩行空間の整備を行う。 (水とみどりの課 道路緑化施設係)	7,195本 (6,417本)	○	整備 55本 整備計 6,588本 92.1%	整備 80本 整備計 6,668本 92.6%	整備予定 70本 整備累計(予定) 6,738本 93.6%	26頁	○
3	河川の水質浄化	水のきれいな川にするため、東京都や流域の自治体、区民・事業者との連携を図り、地下水の河川への放流など、具体的な水質浄化対策について研究する。 (環境政策課 環境調査係)		○	予算額【3,000千円】 ・築地川水質浄化連絡会 *連絡会設置 都区関係部局及び(財)東京都公園協会 会浜離宮恩賜庭園で構成 *第1回定例会開催 ・築地川浄化対策事業 浄化剤散布(3回)	予算額【3,000千円】 ・築地川水質浄化連絡会 連絡会開催 なし ・築地川浄化対策事業 浄化剤散布 なし (浄化方法を抜本的に見直すこととしたため。)	予算額【0千円】 ・築地川水質浄化連絡会 連絡会開催 1回 ・築地川浄化対策事業 浄化方法の研究	27頁	
4	朝潮運河護岸環境整備の推進	東京都の護岸整備にあわせて、親水性や水生生物等に配慮した憩いの場として整備する。 (水とみどりの課 公園河川係)	整備延長 2,810m (—)	○	晴海3丁目 整備延長 294m 整備なし 累計 294m 10.5%	晴海3丁目 整備延長 294m 整備なし 累計 294m 10.5%	晴海3丁目黎明橋公園北側 整備延長 104m 整備なし 累計 398m 14.2%	27頁	○

事業	事業概要 (計画期間中の新たな視点等)	重点プロジェクト	10年後の到達目標 平成19年度(策定時)の状況	事業化状況	推進状況			掲載頁	基本計画
					平成22年度実績(3月末)	平成23年度実績(3月末)	平成24年度当初見込み (平成25年3月末まで)		
5	水の都プロジェクトの推進	水辺の持つ魅力を引き出したにぎわいの場を創出するため、「中央区水辺利用の活性化に関する方策(平成18年4月策定)」に基づき、地域性や歴史性を踏まえながら、快適でうおいのある水辺環境の整備、さらにはにぎわいの場としての活用により居住者にも来訪者にも魅力的な水辺空間とするため「水の都プロジェクト」を推進する。 (水とみどりの課 道路緑化施設係・公園河川係)		○	予算額【147,746千円】 ・浜町河岸緑道整備(日本橋地域) 275m下部工事(H23年度上部修景) ・月島三丁目緑道整備 110m ・隅田川テラス	予算額【129,885千円】 ・浜町河岸緑道整備(日本橋地域) 275m上部修景 ・隅田川テラス照明整備 841m	整備なし 予算額【0千円】	計 画 外	
6	花と緑の見所づくり	「花の都中央区宣言」がめざす花と緑に包まれたまちを実現するため、改定した「中央区緑の基本計画」に基づき公園や道路、緑道などに花や緑の見所をつくる。 (水とみどりの課 公園河川係)	推進 (推進)	○	予算額【10,640千円】 公園 1園 ・浜町公園	予算額【5,000千円】 公園 1園 ・石川島公園	整備なし 予算額【0千円】	計 画 外	
7	中央会館「銀座プロッサム」屋上緑化を活用した指定管理者と「銀座ミツパチプロジェクト」との協働	中央会館「銀座プロッサム」屋上緑化設備を活用し、指定管理者と特定非営利活動法人銀座ミツパチプロジェクトが、ミツパチの蜜源となる草花の維持管理を協働で実施する。 (区民部地域振興課 協働推進主査)	推進 (一)	○	屋上緑化設備の活用 ・草花、農作物の苗植、育成 ・障害のある方々の活動の場として提供(障害者就労促進センターさわやかワーク中央)	屋上緑化設備の活用 ・草花、農作物の苗植、育成 ・障害のある方々の活動の場として提供(障害者就労促進センターさわやかワーク中央) ・中学校野外授業の場の提供(銀座中学校)	屋上緑化設備の活用 ・草花、農作物の苗植、育成 ・障害のある方々の活動の場として提供(障害者就労促進センターさわやかワーク中央) ・区民、在勤者を対象とした農園教室の開催(銀座ミツパチプロジェクト)	計 画 外	
8	地域の森づくりに向けた環境調査	公園、緑地及び街路樹などによる緑のネットワークの構築は、良好な歩行環境を形成し、さらにはヒートアイランド現象をも緩和することから、本区を連続性のある植樹・植栽の配置等を取り入れた「地域の森」の実現を目指し環境調査をする。 (都市整備部地域整備課 まちづくり推進主査)		○	予算額【5,500千円】 区内の風環境の実態調査を行う。 ・第Iゾーン 八重洲通り久安橋付近 ・第IIゾーン 日本橋浜町1丁目付近 ・第IIIゾーン 勝どき6丁目付近 各ゾーンとも観測点を2箇所設けて調査を行う。	予算額【7,000千円】 ・風環境の把握、分析した。 ・地域の森づくりに実現に向けた検討会を実施し、歩行環境にかかる課題の整理と方策検討を行った。 ・良好な歩行環境形成の実現化方策を取りまとめた。 (調査終了)	—	計 画 外	
小計	8事業			8事業					

5 地域の環 ー区民・事業者・区が協働して、楽しみながら環境活動を実践しているまちをつくりまー

事業	事業概要 (計画期間中の新たな視点等)	重点プロジェクト	10年後の到達目標 平成19年度(策定時)の状況	事業化状況	推進状況			掲載頁	基本計画
					平成22年度実績(3月末)	平成23年度実績(3月末)	平成24年度当初見込み (平成25年3月末まで)		
1	環境活動への応援	区民や事業者が提案する優れた環境プロジェクトなどを応援し、取組み意欲を高める仕組みをつくる。 (水とみどりの課緑化推進係・環境政策課計画調整係)	推進 (一)	○	中央区グリーンアッププロジェクト(中央ぶらねっと) ・晴海第三公園の緑化	中央区グリーンアッププロジェクト(中央ぶらねっと) ・隅田川左岸(月島三丁目)の緑化	推進	28頁	
2	区民・事業者・区の連携による環境活動	・環境区民会議の設立 区民、事業者、NPO等に参加を呼びかけ、自主的・自発的な環境活動を促進する。 (環境政策課 計画調整係)	設立予定 平成20年度 (一)	◎	開催 0回 予算額【27千円】 登録数 72	開催 1回 予算額【27千円】 登録数 69 ・環境区民会議平成24年3月23日開催参加者 22人(個人9人・団体3人・事業者10人) ・環境区民会議会員により、中央区版二酸化炭素排出抑制システムの公募愛称名選定の一次審査を行った。	開催 2回予定 予算額【27千円】 登録数 69 ・環境区民会議開催予定(平成24年8月及び平成25年2月) 課題と今後の方向 ・環境区民会議の継続開催 ・会議参加者を増やすための誘導 ・自主的・自発的な環境活動が提案される会議運営	34頁	
3	エコポイント制度導入の検討	買い物やレジ袋を断るにより得たポイントを、「中央区の森寄附金」等の環境活動に使える「エコポイント」制度を検討する。 (区民部商工観光課 商工観光係)		○	—	環境省が推進する全国版「エコアクションポイント」制度を活用し、区が実施する環境事業にポイント付与を行っている。	環境省が推進する全国版「エコアクションポイント」制度を活用し、区が実施する環境事業にポイント付与を行っている。	29頁	
4	環境情報施設の整備	環境に関する様々な情報の提供や環境活動の場と機会の提供に対応するため環境情報施設を整備する。 (環境政策課 計画調整係)	1か所 (一)	○	・事業開始 京橋3丁目1地区都市再生特別地区の建物内 24階建の6階の一部(全面積410㎡) ・着工:平成22年夏頃(予定) 竣工:平成25年3月末(予定) ・環境情報施設の設置予定 平成25年4月頃(予定) ・開発事業者との調整開始	○開設準備として以下の調整を行った。 ・施設を整備するスペースは、建物所有者から区が賃料無料で借り受ける。(ただし、共益費相当額を負担する。) ・建物所有者側と区で確認書を取り交わした。 ・施設の開設は平成25年6月初旬を目途とする。	予算額【2,682千円】 ・内装用間伐材購入(682千円)(檜原産杉材60mm×60mm×302m) ・移動式間仕切り購入(2,000千円) 債務負担【50,000千円】 ・展示情報コーナーの展示物等製作を行う (平成24年10月～成25年5月予定)	29頁	○
5	環境経営認証取得費助成	区内の中小企業が環境に配慮した経営に関する認証(エコアクション21、エコステージ、グリーンプリンティング、グリーン経営認証など)を新たに取得した場合に、その経費の一部を助成する。 (環境政策課 温暖化対策係)		○	—	予算額【2,826千円】 ・助成決定件数 6件 786,000円	予算額【2,772千円】 ・助成決定件数 30件 2,700,000円	計 画 外	
6	エコ・アクションポイント導入	環境省が推進している全国型のエコ・アクションポイントに参画。本区の実施する環境事業への参加者にポイントを付与する。 (環境政策課 温暖化対策係)		○	予算額【530千円】 エコ・アクション・ポイントの運用 ・付与実績 199件 35,700p	予算額【524千円】 エコ・アクション・ポイントの運用 ・付与実績239件78,400ポイント 23予算規模665件213,500P	予算額【633千円】 エコ・アクション・ポイントの運用 1,070件298,300ポイント (平成24年6月29日現在) 113件17,600ポイント	計 画 外	
小計	6事業			6事業					